

將 下
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

機秘

步兵第二百二十一聯隊日々命令

九月十六日

第三機関銃中隊

陸軍上等兵 近藤 隆次郎

步兵砲中隊

黒田 弘

開封憲兵隊勤務中、處中隊復歸ヲ命

（九月十五日附）

第五中隊 陸軍兵長 青木 巖

師團副官部勤務要員トシテ派遣ヲ命

依テ九月十七日夕迄該部ニ到リ服務スベシ

九月十五日日々命令第六項一行目補充兵一バヲ補充兵ニ改

變更ス

聯隊長

將木
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

步兵第二百三十一聯隊曰々命令

九月十七日

第三大隊本部

陸軍主計少尉 伊東 能孝

3 借行社品購入ノ為九月十八日ヨリ三泊四日豫定ヲ以テ開

4 封借行社ニ出張ヲ命ス

第三機關銃中隊

陸軍上等兵 久保島 丑太郎

同

陸軍一等兵 山下 榮

師團管理部衛兵勤務ヲ免シ中隊復隊ヲ命セラル
(九月十六日附)

第十一中隊

陸軍少尉 高橋 鑛太郎

新徴連絡部勤務ヲ命ス

(九月十三日附)

第七中隊

陸軍曹長 和田 正雄

事務連絡ヲ為九月十七日ヨリ三泊四日豫定ヲ以テ九村警備隊ニ出張

命令

聯隊長

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

秘

步兵第二十二聯隊曰々命令 九月十八日

通信中隊 陸軍上等兵 中島 徳

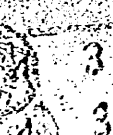
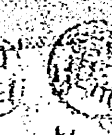
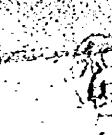
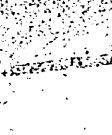
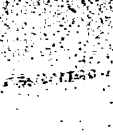
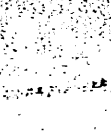
入院患者ニ對スル輸血實施ノ為 九月十八日ヨリ三泊四日ノ豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ス

第三機關銃中隊 陸軍上等兵 藥師 寺 健

師團司令部勤務中ノ處中隊復命ヲ命セラル
 (九月十六日三五師司)

聯隊長




秘

步兵第二百二十一聯隊日々命令九月十九日

昭
和
十
八
年
陸
軍
違
第
六
九
號
依
り
一
等
給
給
ス
忠
義

陸軍軍曹
 出村吉山 武藤吉吉 小坂吉吉 石城早 赤城 熊 小 明
 村 本 藤 野 川 坂 城 城 城 城
 義 勝 忠 五 保 次 良 正 貞 恒 三 廣
 治 久 良 之 郎 助 博 武 夫 生 郎 雄

五.	四.	三.	昭和十八年陸達第六九號依り二第給										
第十中隊	上等兵ノ階級ニ進ム	兵科甲種幹部候補生ヲ命ス	兵科甲種幹部候補生	兵科幹部候補生	中村	中村	井内	中森	鐘中	吉齊	齊藤	小佐藤	陸軍曹
任陸軍伍長	陸軍兵長小澤	中村	中村	中村	中村	井内	中森	鐘中	吉齊	齊藤	小佐藤	陸軍曹	
(八月二十二日附)	(第三四項九月七日附)	武	武	武	武	井内	中森	鐘中	吉齊	齊藤	小佐藤	陸軍曹	
						上藤	川山	居山	永藤	藤重	榮義		
						榮茂	嘉邦	入陽	光重	榮義			
						雄	英郎	守枝	三雄	孝吉	介		

六

陸軍中尉 武廣英
陸軍少尉 鈴木一
同 浦野三郎
同 兵科見習士官 西昌善治

兵科將校馬事教育專習員トシテ開封師團病馬廠ニ分遣
ヲ命ス

依テ九月二十三日夕迄ニ該廠ニ到ルベシ

七

陸軍少尉 堀田賢治
鐵道爆破事故対策會議並師團會報ニ列席ス
十日ヨリ三日四日ノ豫定ヲ以テ開封師團司令部ニ出張ヲ命ス

八

第七中隊 陸軍軍曹 山村義治
入院患者ニ對スル輸血實施ノ爲メ九月十九日ヨリ一日ノ豫
定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

九

第四中隊 陸軍軍曹 平山治己

遺骨受領、為九月二十二日より二十四日、豫定ヲ以テ北京
第二陸軍病院ニ出張ヲ命ス

第十一中隊 陸軍伍長 高田 定七
遺骨受領、為九月二十二日より二十四日、豫定ヲ以テ天津
陸軍病院ニ出張ヲ命ス

二 歩兵砲中隊 陸軍上等兵 長谷部 弘司
獸醫資材受領、為九月二十日より二十二日、豫定ヲ以テ
開封師團病馬廠ニ出張ヲ命ス

三 聯隊本部勤務 陸軍上等兵 吉田 七郎
日用品並消耗品受領、為九月二十日より二十二日、豫定ヲ
以テ新郷野戰倉庫ニ出張ヲ命ス

三 日給壹圓 康 範 照

臨時傭人ニ採用シ頭書ヲ日給ヲ給ス
聯 隊 長

6 5 4 3 2 1 將
 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 下

秘

步兵第二百二十一聯隊日々命令 九月二十日

第九中隊 陸軍一等兵金子 洋

上等兵ヲ命ス (九月二十五日附)

聯隊本部 陸軍經技准尉 荻原 春男

事務連絡ノ為九月二十一日ヨリ二泊三日、豫定ヲ以テ

開封師團經理部ニ出張ヲ命ス

聯隊本部 陸軍軍曹長谷川 八作

途中停車指定列車変更打合會ニ出席ノ為九月

二十一日ヨリ二泊三日、豫定ヲ以テ新郷鐵路監理所ニ出

張ヲ命ス

四 第九中隊 陸軍兵長高野 豊

外ニ名

入院患者ニ對スル輸血實施、為九月二十二日より四泊五日豫
定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

五、 第三中隊 陸軍上等兵 山中三郎
第十中隊 同 高田富久三

師團司令部ニ於テ實施、在郷軍人銃劍術諫成教育助
手ヲ命ス

依テ九月二十日シテ副官部ニ到ルヘシ

聯隊長

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	將下
----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

秘

步兵第二百二十一聯隊日々命令

九月二十一日

第 四 中 隊	第 一 機 關 銃 中 隊	第 五 中 隊	第 六 中 隊	第 七 中 隊	第 八 中 隊	第 一 機 關 銃 中 隊	第 九 中 隊	第 十 中 隊	第 三 機 關 銃 中 隊	步 兵 砲 中 隊	通 信 中 隊	補 助 憲 兵 要 員 ト シ テ 清 化 憲 兵 分 隊 ニ 勤 務 中 ノ 處 中 隊	復 敵 ヲ 命 ス
陸 軍 一 等 兵	陸 軍 上 等 兵	同	同	同	同	同	同	同	同	陸 軍 一 等 兵	陸 軍 上 等 兵		
長 峰	後 藤	田 中	山 崎	江 原	上 野	木 下	正 田	江 角	大 貫	四 分	武 雄		
武 雄	米 次	岩 吉	信 夫	利 夫	武 吉	岩 吉	豐 吉	敏 雄	幹 雄	武 雄	考 雄		

別紙計画依り昭和十八年度幹部候補生甲乙種區分檢定試

驗ヲ實施ス

三

第四中隊

陸軍曹長 大村 博

第一中隊

陸軍一等兵 中村 誠

昭和十五年陸軍第一〇號。依リ八月二十六日附テ近

衛歩兵第五聯隊補充隊ニ轉屬ス

四

第三機關銃中隊

陸軍軍曹 池田 健

第十中隊

陸軍一等兵 浅井 克

第十二中隊

同 露木 七三

北陽兵站事務所交代要員トシテ派遣ヲ命ス

依テ九月二十一日迄ニ該所ニ到リ前勤務者ト交代服務スベシ

聯隊長

6 5 4 3 2 1 將
 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 下

秘

步兵第二百三十一聯隊日々命令九月二十日

步兵砲中隊 陸軍兵長 森政一郎

入廠馬輸送ノ為九月二十三日ヨリ二泊三日豫定ヲ以テ開封師團病馬廠ニ出張ノ命

第三大隊本部 陸軍上等兵 畠留宮 敬一

陣營具並事務用消耗品受領ノ為九月二十三日ヨリ二泊三日豫定ヲ以テ新郷野戰倉庫ニ出張ノ命

聯隊長

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	將下

步兵第二百二十一聯隊日々命令九月二十三日

步兵砲中隊

陸軍兵長小林

禧重

昭和十八年度第二年度兵科下士官候補者ヲ免ス

陸軍兵長小林 禧重

下士官勤務ヲ免ス

陸軍少尉松山

修

昭和十八年第六次陸軍步兵學校教育學生トシテ分

遣中ノ處該教育終了ス

引續キ第七次臨時教育學生トシテ分遣ヲ命ス

九月十九日日々命令第六項中兵科見習士官小林善

治ヲ削除ス

五.

第四中隊

陸軍一等兵新井俊雄

上等兵ヲ命

(九月十四日附)

六.

歩兵砲隊

陸軍兵長渡邊華一郎

入院患者ニ對スル輸血實施ノ為九月二十三日ヨリ四泊五日ノ豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命

聯隊長

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	將下

抄

步兵第二百二十一聯隊曰々命令 九月二十五日

聯隊本部 陸軍曹長菅澤榮夫

第四十一師團要員初年兵對スル恩賞會議ニ出席ノ
為九月二十六日ヨリ五日ノ豫定ヲ以テ濟南第十三
軍司令部ニ出張ヲ命ス

陸軍軍曹高松定則

給ニ等給

(八月一日附)

第一機關銃中隊 陸軍上等兵森田彌一

第三機關銃中隊 同 重田重利

兵技特教下士官要員トシテ北支那野戰兵器廠(北京)ニ派遣ヲ

命ス

通信中隊 陸軍上等兵四分一武彦

兵技特教下士官要員トシ北支那野戰自動車廠(天津)ニ
分遣ヲ命ス

第三第四項ニ依ル人員ハ九月二十七日十五時迄ニ開封師團參謀部ニ到ルヘ

五

第一機關銃中隊	陸軍衛生上等兵	中
第五中隊	同	榎本 孝一郎
第八中隊	同	田端 三郎
第三機關銃中隊	同	小金澤 武夫
通信中隊	同	杉浦 茂

六

衛生特教下士官要員トシテ濟南陸軍病院ニ分遣ヲ命ス
依テ九月二十一日九時迄ニ開封師團參謀部ニ到ルハシ

第三機關銃中隊	兵科幹部候補生	柳澤 榮吉
第五中隊	同	若旅 秀男
通信中隊	同	坂本 好亥
第四中隊	同	井桁 章一
第九中隊	同	森昭 平

兵科幹部候補生ヲ免シ陸軍一等兵ヲ命ス(九月十五日附)

七

第六中隊
第三機關銃中隊

陸軍兵長 榎澤幾雄
田端新吉

戰車下士官要員トシテ千葉陸軍戰車學校ニ分遣ヲ命ス

依テ九月二十九日十時迄ニ北京北支那方面軍司令部ニ到ル

八

第七中隊

陸軍軍曹 齊藤昇

輸血實施ノ為九月二十五日より二泊三日ノ豫定ヲ以テ新郷
陸軍病院ニ出張ヲ命ス

九

聯隊本部勤務

陸軍一等兵 内田作治

功績書類提出ノ為九月二十六日より二泊三日ノ豫定ヲ
以テ開封師團司令部ニ出張ヲ命ス

聯隊長

將 下 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

步兵第二百二十一聯隊 日日命令 九月二十六日

一 第五中隊 陸軍伍長 阿部正一郎

遺骨受領、為九月二十七日ヨリ六泊七日、豫定ヲ以テ
青島陸軍病院ニ出張ヲ命ス

二 陸軍中尉 齋藤 壽

師團會報出席、為九月二十八日ヨリ二泊三日、豫定ヲ
以テ開封師團司令部ニ出張ヲ命ス

三 第五中隊 陸軍上等兵 細島 貴一

入院患者ニ對スル輸血實施、為九月二十六日ヨリ
一泊二日、豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

聯隊 長

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	下
----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

步兵第二百二十一聯隊曰命令 九月二十七日

第五中隊 陸軍上等兵 山田清一

入院患者ニ對スル輸血實施ノ為九月二十一日ヨリ泊
二日ノ豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

第一機南銃中隊 陸軍軍曹 小野次郎

第十一軍參謀部勤務中、處中隊復敗ヲ命セラル

(九月二十一日附)

聯隊長

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	將下
----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

秘

步兵第二百二十聯隊日々命令 九月二十八日

步兵砲中隊 陸軍一等兵 柏崎 武平

上等兵ヲ命ス (九月二十六日附)

聯隊本部 陸軍兵技軍曹 山中 光義

兵器受領ノ為 九月二十九日より 二泊三日 豫定ヲ以テ

開封師團兵器部ニ出張ヲ命ス

聯隊本部 陸軍經技伍長 古賀 信義

軍裝品並被服消耗品受領ノ為 九月二十九日より

二泊三日 豫定ヲ以テ 開封野戰倉庫ニ出張ヲ命ス

第五中隊 陸軍上等兵 塚田 義夫

入院患者ニ對スル輸血實施ハ為九月二八日より一泊
二日ノ豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

聯隊長

1418

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	將
												下

秘

步兵第二百三十一聯隊日々命令 九月二十九日

陸軍軍曹 新井彌作

同 川口敬次郎

陸軍兵科將校勤務適任證書ヲ附與ス（八月三十日附）

二、第七中隊 陸軍軍曹 出村義治

第五中隊 陸軍一等兵 越川昇

連絡班要員トシテ師團副官部ニ分遣ヲ命ス

三、第三機關銃中隊 陸軍一等兵 大澤保治

聯隊本部勤務ヲ免ス（九月十一日附）

四、第五中隊 陸軍上等兵 伊藤藤房之

輸血ノ為九月二十九日ヨリ泊二日豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

聯隊長

6	5	4	3	2	1	將
12	11	10	9	8	7	下

秘

步兵第二百二十一聯隊日々命令 九月三十日

陸軍衛生曹長 藤波勘藏

給二等給

(八月一日附)

第九中隊 陸軍一等兵古市秀夫

昭和十八年度第一年度經技下士官候補者ヲ命ス

陸軍一等兵古市秀夫

經技下士官候補者トシテ陸軍被服本廠ニ派遣ヲ命ス
依テ十月四日迄ニ聯隊本部ニ集合シ副官ノ指示ヲ受クヘシ

第四中隊 陸軍上等兵尾澤仁

入院患者ニ對スル輸血実施ノ為九月三十日より一泊二日ノ
豫定ヲ以テ新郷陸軍病院ニ出張ヲ命ス

五、聯隊本部勤務 陸軍一等兵若林勝藏
 軍鳩飼料受領、為十月一日ヨリ二泊三日豫定ヲ以テ
 開封若松部隊ニ出張ヲ命ス

六、左記計畫ニ依リ定例炭疽豫防接種ヲ実施ス
 左記

炭疽豫防接種実施計畫			
日	時	実施順	場所
十月三日	自九時	聯隊本部、通信中隊、乘馬小隊	部隊本部、獣医室前
同	自十時	歩兵砲中隊	新兵舎
十月四日	自十時	第三大隊本部（三機）	小澤部隊本部
備考 一、実施前炭疽予防接種連名簿一部提出ノコト。 二、接種後二日間、運動ヲ禁シ面張網トシ該部ノ磨擦ヲ防止スベシ。 三、各隊ハ体温表ヲ作製シ実施前ヨリ一週間毎日ニ回検温スルモノトス。 四、細部ニ関シテハ獣医部將校ノ指示ヲ受クヘシ。			

聯隊長